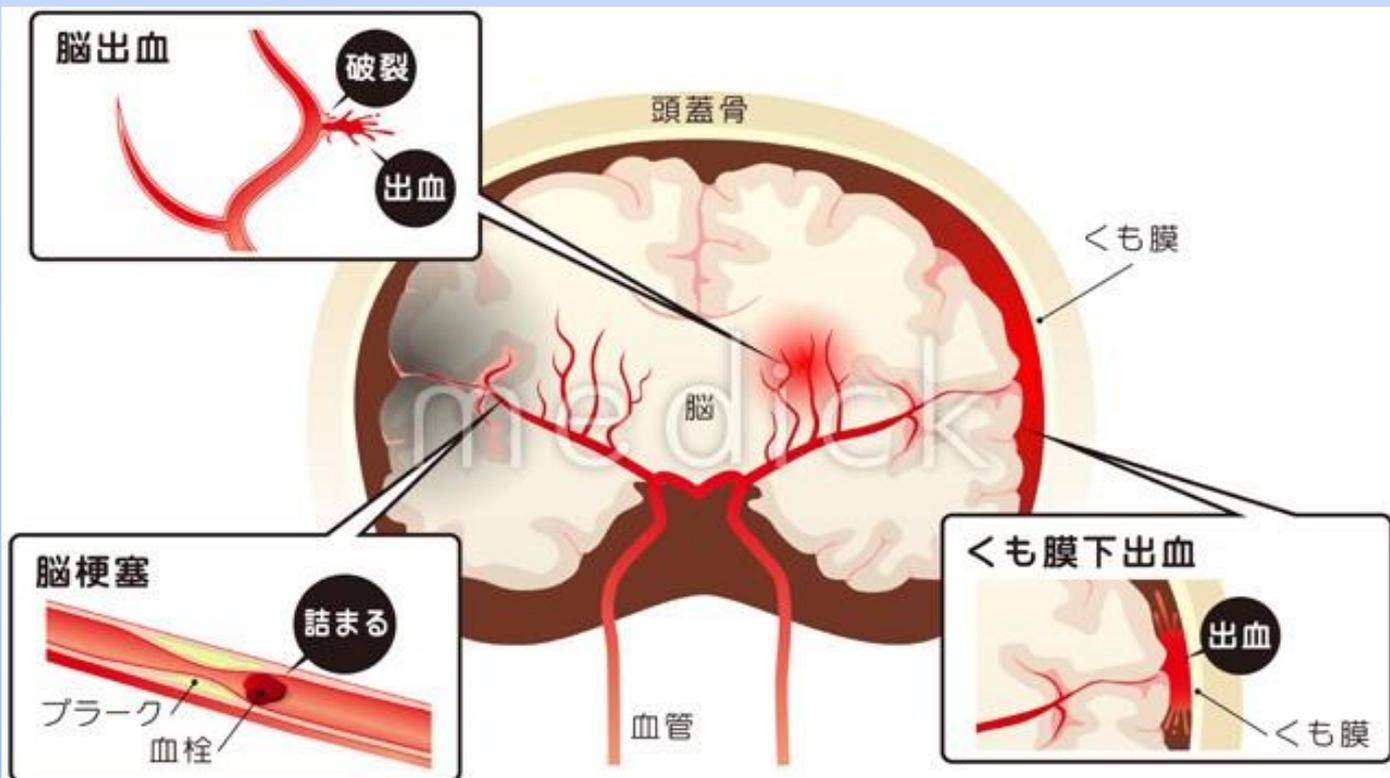


脳卒中の知識



脳卒中とは？

脳卒中とは、脳の血管に異常や問題が起こって、脳に血液が行き届かなくなり、急に神経症状を来たす病気です。代表的なものに、脳の血管が詰まる「**脳梗塞**」、脳の血管が破裂する「**脳出血**」、脳表面の血管にできた動脈瘤が破裂する「**くも膜下出血**」の3つのタイプがあります。



寝たきりの原因 **第1位**

死亡の原因 **第4位**



脳卒中は、「寝たきり」になる原因の第1位、死亡原因の第4位です。脳卒中の中でも脳梗塞の患者が一番多く、約6割を占めています。

脳卒中は、重症の場合には死亡に至ることもあります。また、後遺症が残ることが多く、歩行障害などの運動麻痺や言語障害などが「寝たきり」の最大の原因となります。

脳卒中にならないためには

脳卒中の原因として、高血圧、高コレステロール血症、糖尿病、不整脈などのほか、喫煙、飲酒、ストレス、食生活、運動不足などの生活習慣などがあげられます。また遺伝も関係するといわれています。日ごろの生活習慣を見直して改善できることは改善していくことで、脳卒中の予防につながります。





突然こんな症状が出たら、すぐに 119 番

- 片方の手足・顔半分の麻痺・しびれがある。手足のみ、顔のみの場合もあります。
- ろれつが回らない、言葉がうまく出てこない。他人の言うことが理解できない。
- 力はあるのに、立てない、歩けない、フラフラする。
- 片方の目が見えない、物が二つに見える、視野の半分が欠ける。
- 経験したことのない激しい頭痛がする。



脳卒中による命の危険を防ぎ、後遺症を軽くするためには、一刻も早い治療が必要です。そのためには、あなた自身や周りの人の判断が必要です。

「脳卒中かもしれない!」と思ったら、迷わず 119 番へ通報し救急車を呼びましょう。



大切な命を救うため救急車の適正利用をお願いします